

16 Report

じゅうろくレポート

TOPICS

- 十六フィナンシャルグループ スタート!
- 電算システムホールディングスと「合併事業検討にかかる基本合意書」を締結
- 「十六フィナンシャルグループSDGs宣言」の制定

トップメッセージ



Top Message

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

ここに、当社グループの営業の概況やトピックスを要約した報告書「16 Report」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

私どもは、10月1日、株式会社十六フィナンシャルグループを発足いたしました。

十六銀行グループは、地域に根差して144年、地域の皆さまとともに歩んでまいりました。今回の持株会社体制への移行は、第二の創業ともいえる大きな組織改編であり、こうして十六フィナンシャルグループを発足できましたのも、皆さま方のご支援とご厚情の賜物と厚く御礼申し上げます。

地域金融機関を取り巻く経営環境は大きく変化し、不確実性が高まるなか、「先を正確に読む」ことは難しくなっており、「先が読めないことを前提にした」経営が求められております。

こうした背景から、周辺の金融ビジネスの幅をさらに広げるとともに質を高め、「地域総合金融サービス業」へビジネスモデルを転換していくために、十六フィナンシャルグループを発足するに至ったものであります。

十六フィナンシャルグループの設立にあたり、グループ経営理念を制定し、存在意義・使命として「お客さま・地域の成長と豊かさの実現」を掲げました。

この存在意義・使命をはたすために、革新と挑戦をもって新たなことを創造する企業文化を醸成し、変化や多様化に対応できる人材育成に努めてまいります。また、オープンでよりスピード感のある組織によってグループ全体を活性化させ、本業である金融業務の「深化」と、新たな事業など事業領域の拡大による「探索」に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献し、企業価値の一層の向上に努めてまいります。

皆さま方におかれましては、「人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ」にご期待いただくとともに、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

十六フィナンシャルグループ スタート!

2021年10月1日、十六銀行グループは、新規事業への参入などによる事業領域の拡大、役職員の意識改革・行動改革によるグループ連携強化やグループ経営資源配分の最適化、監査・監督機能の強化および業務執行スピードの向上を目的として、株式会社十六フィナンシャルグループを設立し、持株会社体制に移行しました。



グループ経営理念

「グループ経営理念」は、十六銀行の基本理念を受け継ぎ、十六フィナンシャルグループにおける基本的な精神として、全役職員の活動のよりどころとするものであり、「私たちの使命」、「私たちのめざす姿」、「私たちの価値観」から構成されます。

また、これを実践していくための役職員の具体的な行動を「私たちの行動軸」としています。



人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

第1次経営計画

計画期間：2021年10月～2023年3月

十六フィナンシャルグループは、地域の持続的成長に向けた責務を遂行すべく、第1次経営計画を策定しました。

グループ全役職員の意識改革・行動改革をはかるとともに、十六銀行の厚い顧客基盤や情報、人的ネットワークを最大限に活用し、3つの経営戦略に取り組み、グループシナジーを最大化することで、「ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ」を目指してまいります。

計数目標2022年度

連結当期純利益	160億円以上
連結自己資本比率	10%以上
連結修正OHR	65%以下
連結非金利収益比率	30%以上

長期的に目指す指標

連結ROE	5%以上
-------	------

私たちのめざす姿
ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ



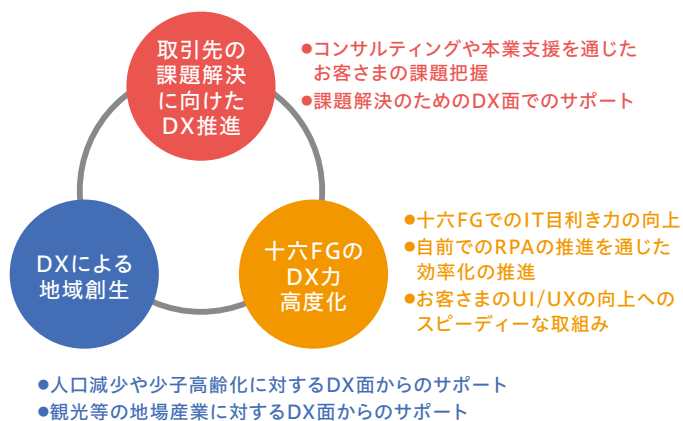
電算システムホールディングスと「合併事業検討にかかる基本合意書」を締結

2021年8月31日、電算システムホールディングスとデジタル分野における合併事業の検討を開始することについて基本合意書を締結しました。十六フィナンシャルグループは経営計画の一つの柱に「DX戦略」を掲げており、地域企業に対するデジタル化・ITニーズへの対応やDXの推進支援を実施していくこととしています。

当社グループの営業地域における基盤・ネットワークと電算システムホールディングスのソリューション提案力を融合することで、地域企業や行政のデジタル化やDX推進に貢献してまいります。



村瀬会長と電算システムホールディングス宮地会長の署名式の様子



「十六フィナンシャルグループSDGs宣言」の制定

十六フィナンシャルグループは、経営理念である「お客さま・地域の成長と豊かさの実現」を目指し、ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループとして、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

●重点課題(マテリアリティ)

地域経済の活性化	グループの経営資源を活かした幅広い金融サービスの提供により、地域企業の成長や地域経済の活性化に貢献します。	
地域社会の持続的発展	地域資源の活用や地方自治体との連携により、次世代につながる新たな価値を創造し、快適で魅力あるまちづくりに取り組みます。	
多様な人材の活躍推進	ダイバーシティや働き方改革を推進し、多様な人材が働きがいを持って活躍できる職場づくりに努めます。	
環境保全と気候変動対策	環境負荷低減や環境保全活動に努めるとともに、事業活動を通じて再生可能エネルギーの普及を促進し、気候変動対策に取り組めます。	
ガバナンスの高度化	ガバナンスの高度化とコンプライアンス体制の強化により、健全で透明性の高い経営体制の確立に努めます。	

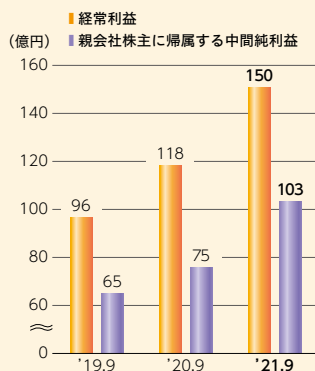
2021年9月期 財務ハイライト

用語説明

- **経常利益**
コア業務純益(※)に有価証券の売却損益・償却および与信関係費用等を加減したものです。
- **親会社株主に帰属する中間純利益**
経常利益に特別損益および税金等を加減した最終的な利益です。
- **自己資本比率**
「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(2006年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

※コア業務純益
資金利益・役員取引等利益・その他業務利益の合計から、国債等債券損益と経費を控除したものであり、銀行の本来業務から得られる利益を示すものです。

■ 経常利益・中間純利益(連結)



■ 自己資本比率(連結)



地域の持続的成長のために

「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワークのリーディング会員に認定

2021年10月、十六銀行は、岐阜県が運営する「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワークのリーディング会員に認定されました。

リーディング会員には、「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員の中から、SDGsの達成に向けた取組みが顕著であり、他をけん引する役割を担う会員が認定されます。

今後、岐阜県内の金融機関では唯一のリーディング会員として、岐阜県とともに県内のSDGsの普及啓発や地域の課題解決に向けて積極的に取り組んでまいります。



十六銀行本店ビルにて、岐阜県産CO₂フリー電気の活用を開始

2021年11月1日より、中部電力ミライズから岐阜県産のCO₂フリー電気「ぎふ清流Greenでんき」を調達し、十六銀行本店ビルで活用しています。

「ぎふ清流Greenでんき」は、中部電力ミライズが岐阜県内を中心とした法人のお客さま向けに販売する、岐阜県内に立地する水力発電所の再生可能エネルギー由来の環境価値を活用した県産のCO₂排出量ゼロの電気です。

十六銀行は「ぎふ清流Greenでんき」の導入企業第1号として、年間約754tのCO₂排出量削減につなげるとともに、「十六フィナンシャルグループSDGs宣言」の重点課題として掲げる「環境保全と気候変動対策」への取組みを積極的に進めてまいります。



「みんなで地方創生SDGsチャレンジ with じゅうろく」の開催

2021年5月から約3か月間、「みんなで地方創生SDGsチャレンジ with じゅうろく」と題したSDGs啓発イベントを開催しました。

本店ロビーの一角を「地方創生SDGsテラス」と称してお取引先さまのSDGsに対する取組みをパネルで展示するなど、地域一体となってSDGsの機運醸成に努めています。



SDGsの推進に向けて

当社グループではこれらの取組み以外にも、SDGsの推進に向けた数多くの取組みを実践しています。詳細はホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

▶ 地域経済の活性化

▶ 地域社会の持続的発展

▶ 多様な人材の活躍推進

▶ 環境保全と気候変動対策

▶ ガバナンスの高度化

▶ SDGs情報発信拠点



SDGsの取組みはこちら